

① 認知症の疑いや初期症状があるが、日常生活は

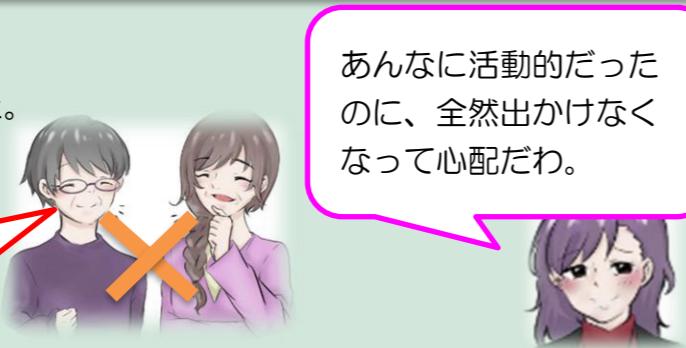
自立している

こんなときに使える
支援・サービス

今までできていたことがおっくうになる

出かけることが好きでしたが、外出が減り家にこもることが増えました。

外に出るのはめんどくさい。
気が乗らないし、人目も気になるの。



あんなに活動的だったのに、全然出かけなくなって心配だわ。

すべてが面倒になり、以前は好きだったことでも興味がわからなくなります。

- 一緒に出掛ける
- 好きだった場所に誘う
- 好きだったことを一緒にしようと声をかける

探し物が増える

メガネをどこに置いたかわからなくなっています。

あそこにおいたはずのメガネがないわ・・・



いつものところに
おいてあるのに、何で
わからないのかな？

日常とは異なる変化に戸惑っており不安を感じています。

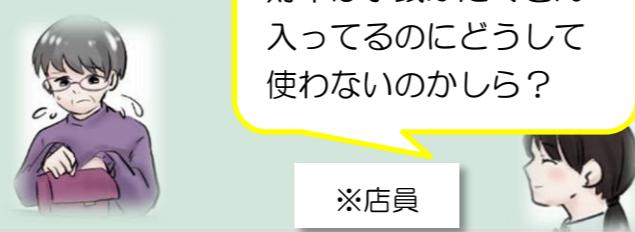
- 間違いを否定せずに優しく教える
- 置き場所を一緒に確認する



簡単な計算ができない

小銭があってもお札で支払うので、財布の中は小銭でいっぱいです。

(細かい計算ができないから)
計算が面倒だわ。



財布は小銭がたくさん入ってるのにどうして使わないのかしら？

お金の計算が難しくなっているので、小銭ではなく、お札を出してお釣りをもらおうとします。



- 「細かいのと両替させて」などと言って小銭をお札に両替する

手順の多い事をしなくなる

手の込んだ料理を作らなくなりました。また、料理を失敗することも増えました。

次は何をしたらいいのかわからないわ・・・。前はどうやって作ってたっけ・・・？



料理が得意だったのに最近は作ることが減ったな。昔はこんな味付けじゃなかった気がする・・・。

複雑な工程が理解できなくなりますが、一つ一つの作業を行うことは可能です。



- 見守りしながら一緒に作る
- 「たまねぎをみじん切りにして」など短くわかりやすい言葉でお願いする

5. 日常生活の手助け
③ 民間配食サービス
④ 市配食サービス

10ページ

7. 住み慣れた自宅で過ごす
☆② 訪問型サービスA
☆③ 訪問型サービスB
★④ 訪問介護
(ホームヘルプサービス)

11ページ

② 認知症の症状があり、日常生活に手助けが必要

こんなときに使える
支援・サービス

短期間に同じことを何回も聞く

朝の薬を飲んだか忘れて、何回も聞いています。

何回も飲んだって言っている
のに・・・何度も同じことを聞かれるとさすがにイラ
イラするなあ。



時間や曜日、季節、年次などがあやふやになり、服の着替えが困難になる

真夏なのにセーターを着ています。

こんな暑い日に
セーターを着るなんて
どうしちゃったの？



被害妄想などの行動・心理症状が増える

お金を盗まれたと騒いでいます。

誰かが私のお金を盗んだ！
犯人は嫁に違いないわ！
嫁が私の財産を狙っている！

お義母さんのお金
なんてとらないわよ。



一人歩きして道に迷う

自宅にいるのに「家に帰る」といって家を出て行き、
迷っています。

ここはどこ？家に帰りたい・・・

はな子、どこに
いったんだ？



短期記憶が保持されず、すぐに忘れてしまう
ので不安になってしまいます。安心できる
声かけや対策をしましょう。



- ・お薬カレンダーで管理する
- ・薬の空袋を見てもらい安心してもらう

見当識障害により理解や判断が低下し、季節がわ
からず正しい着方ができなくなります。
体温調節機能の低下が原因であることもあります。

- ・声掛けに配慮して、季節に合わせた服に
交換してもらう
例：「こっちのほうが似合うよ」など
- ・季節に合わない服はしまっておく

11ページ

7. 住み慣れた自宅で過ごす
- ☆② 訪問型サービスA
 - ☆③ 訪問型サービスB
 - ★④ 訪問介護
(ホームヘルプサービス)
 - ★⑩ 通所介護
(デイサービス)
 - ★⑫ 小規模多機能型居宅介護

被害妄想を抱く場合がありますが、否定せずに話
を聞いて共感しましょう。



- ・一緒に探そうと声をかける
- ・財布や通帳を見せて安心してもらう

5. 日常生活の手助け
- ⑦ 日常生活自立支援事業
 - ⑧ 成年後見制度

10ページ

記憶障害・見当識障害が進行すると、知っている
場所や身近な人などが認識できなくなることが
あります。



- ・「一緒に行きましょう」などと伝え散歩
に付き合う
- ・捜索機器などを利用する

4. 見守り支援
- ① 新聞配達等見守り
 - ② 緊急通報装置の貸与
 - ③ 認知症高齢者捜索機器
の貸与
 - ④ 高齢者見守りメール
 - ⑤ 認知症高齢者等個人賠償
責任保険

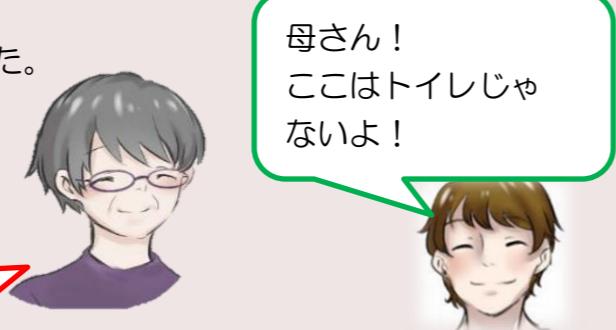
10ページ

③ 常に介護が必要

こんなときに使える
支援・サービス

飲食・排せつなど日常の行為が困難になる

トイレではない場所で用を足してしまいました。



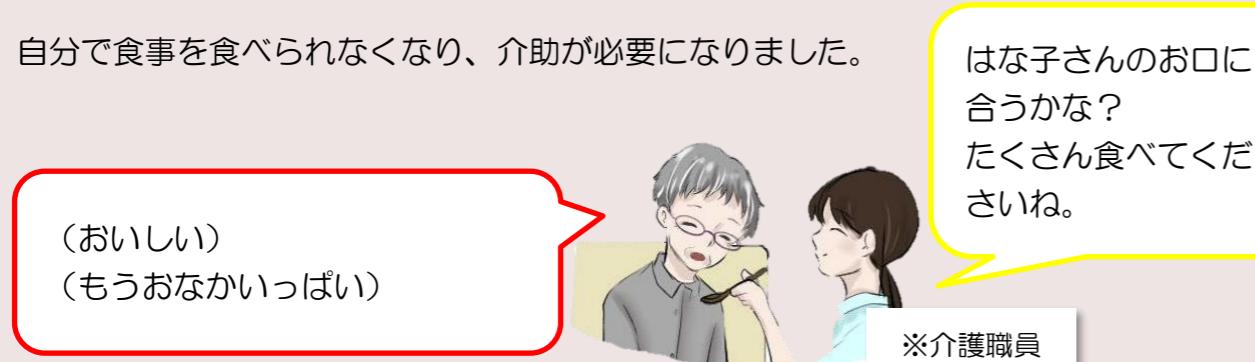
言葉による意思表示が難しくなる

会話が成り立たず、意思疎通が難しくなってきました。



寝たきりになり、生活全般に介護が必要

自分で食事を食べられなくなり、介助が必要になりました。



ご家族・介護者のみなさんへ



記憶障害・見当識障害が進行すると、使い慣れたものや場所がわからなくなることがあります。

- ・トイレだとわかるように張り紙をする
- ・定期的に声掛けをしてトイレに誘う

会話ができなくても、感情は保たれています。

- ・言語でのコミュニケーションが難しくなりますが、感情は伝わっています
- ・表情や動作などを見て関わりましょう

認知症がさらに進行すると、運動機能などあらゆる機能が低下することがあります。

- ・声かけすると何らかの意思表示があることがあります
- ・何もできない・わからないと決めつけずに、温かく声掛けして接しましょう

7. 住み慣れた自宅で過ごす

- ★④ 訪問介護
(ホームヘルプサービス)
- ★⑤ 訪問看護
- ★⑩ 通所介護
(デイサービス)
- ★⑫ 小規模多機能型居宅介護
- ★⑬ 看護小規模多機能型居宅介護
- ★⑭ ショートステイ

11ページ

8. 安心して自分らしく暮らす

- ★④ グループホーム
- ★⑥ 特別養護老人ホーム

12ページ

大切なご家族でも介護は大変なときもあります。ご家族だけで抱え込まずに上手にサービス・支援を利用しましょう。
介護しているご家族のための支援もあります。ぜひご活用ください。

6. 家族への支援

- ① ご家族応援プロジェクト
- ② 認知症介護家族交流会
- ③ 男性介護者の集い
- ④ プラチナカフェ

10ページ